● Information

イベントカレンダー

◆ 横浜『いたち川』見学会のご案内

私たちの町を流れる白子川は、その川岸も川底もコンクリートで整備されてしまい、大雨時の雨水や、生活排水・工場排水を流すための川になっているのが現状です。しかしながら、川底をゆらゆらと流れる水の大半は、何年もの間、武蔵野台地の地中を流れ、ようやく地表に現れた湧水で、この水は、貴重な動植物の生息・生育環境に適した水となっています。今回の、横浜市を流れる都市河川『いたち川』の見学を通じて、一度コンクリートで整備された川であっても、動植物の生息・生育環境を創造できること、また、工夫によっては親しみの持てる水辺を創造できることを、知ってもらえれば幸いです。

・日時：８月 19 日（日）　※午前８時（和光市駅発）、午前８時半（大泉学園駅発）
・行程：以下が当日の大まかな見学コースになります。
　いたち川下流部 → いたち川中流部 → 瀬上市民の森（いたち川上流部）→ 舞岡小学校
・案内役：横浜市泉土木事務所 下水道課　和久井 征治 氏
　【土木技術者として25年以上も「いたち川」に関わるとともに、市民の立場で地域の小中学校での環境教育等を実践。また、平成７年10月に結成された「いたち川 otasuke 隊」にメンバーとして参加。「いたち川」に関する情報提供を行うとともに、人々のネットワークや環境保全などを意識したまちづくりを目指している。】
・対象：板橋区、練馬区、和光市在住の方 及び 都市河川の改修に興味のある方 等
・募集人数：40 ～ 50 名（定員に達し次第締切）
・持ち物：防暑具（帽子、タオル、日焼け止め等）、お弁当、飲み物、筆記用具 等
・費用：大人 1,500 円、子供（中学生まで）1,000 円　※保険料込み。
・主催：白子川と流域の水環境を良くする会
・申込み＆問合せ：048-464-5545（須貝）、090-6013-0274（西村）

埼玉県からのお知らせ　埼玉県　新河岸川総合治水事務所閉所のお知らせ

平成19年３月31日をもちまして、埼玉県新河岸川総合治水事務所が閉所されました。埼玉県新河岸川総合治水事務所の事務や事業については、工事担当は該当する市町を所管する県土整備事務所（さいたま・朝霞・川越・飯能の各事務所）へ、また企画調査担当は、総合治水事務所（旧中川・綾瀬川総合治水事務所）へ引き継がれています。

国土交通省からのお知らせ　荒川総合知水館（amoa）からのお知らせ

荒川知水資料館（amoa）では荒川に触れることができる機会として、年間を通じて様々なワークショップを開催しています。

◆ ハゼ釣り教室　～荒川で釣り博士になろう～

・日時：7月28日（土）　10：00～15：30
　（小雨決行。ただし荒天の場合はアモアホールで、釣りに関する講義）
・場所：荒川知水資料館（アモア）　荒川知水資料館周辺の水辺
・講師：太田桐　正吾氏
・対象：小学生以上（小学生は保護者同伴。親子での参加歓迎）
・内容：荒川をより身近に感じてもらい、釣りのマナーを学びながら、川をきれいにする気持ちを養ってもらう。
・募集人数：30 名（定員に達し次第締切）
・持ち物：釣り竿（子供用は貸出し）、えさ（キジ、アオイソメなど）、昼食、飲料水、タオル、ハゼを入れる容器、汚れてもよい服装、帽子
　※投げ竿（リール付竿）は、危険のため使用を禁止します。
・費用：100 円（えさ代（子供を対象）。当日会場で徴収します）

【受付開始】7月7日（土）

申込み＆問合せ

はがき・電話・メール・直接資料館受付のいずれかで、参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡ください。
※個人情報の取り扱いについては、個人情報保護法に基づき適正に取り扱います。
〒115-0042
東京都北区志茂 5-41-1　荒川知水資料館　ワークショップ事務局
【TEL】03-3598-2134　【メール】amoa-ws@ara.go.jp
【受付時間】10：00 ～ 16：00（月曜休館）
（月曜が祝日の場合は火曜休館）

◆ 子供向け夏休み講座　～夏休みお助け出張教室～

・日時：8月25日（土）～8月31日（日）　10：00～18：00
・時間割：出張教室
　（10：00 ～ /12：30 ～ /14：30 ～ /16：30 ～（各 90 分間））
　紙芝居ショー（11：00 ～ /13：00 ～ /15：00（各 30 分間））
・場所：荒北区立赤羽文化センター（第1学習室Ａ）
　イトーヨーカドー赤羽店（6Ｆオドリ場）

開催日＼場所	赤羽文化センター		イトーヨーカドー
	第１学習室Ａ	ロビー	
8/25（土）	出張教室、ミニ教室	展示	紙芝居ショー
8/26（日）	出張教室、ミニ教室	展示	紙芝居ショー
8/27（月）		展示	ミニ教室
8/28（火）		展示	ミニ教室
8/29（水）		展示	ミニ教室
8/30（木）		展示	ミニ教室
8/31（金）		展示	ミニ教室

・講師：荒川知水資料館スタッフ
・対象：小学生以上（小学生は保護者同伴。親子での参加歓迎）
・内容：◆出張教室：クイズやオリジナルカードなどを使って生き物の棲んでいる所や水の循環等を勉強し夏休みの自由研究にもなる教室です。
　◆紙芝居ショー：荒川に関するお話。
　◆ミニ教室：荒川の生物や歴史を自分で調べてオリジナルの図鑑を作ります。
　◆展示：アモアの案内やトリックアートなどで荒川に生息する生物を楽しみながら知ってもらう。
・募集人数：出張教室のみ各回 48 名（定員に達し次第締め切ります）
　※出張教室以外のイベントは自由参加です。
・持ち物：筆記用具
・費用：無料

【受付開始】８月４日（土）

事務局便り

川づくり連絡会に参加してみませんか？

川づくり連絡会の様子

原則第２火曜日に新河岸川流域川づくり連絡会を開催しています。参加希望の方は、右記事務所までお問い合わせください。
（開催場所はお問い合わせ時にお知らせします。）

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します！

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAX・メールにて事務局までお寄せ下さい。

■ 連絡先
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
新河岸川流域川づくり連絡会　事務局
（国土交通省関東地方整備局　荒川下流河川事務所　調査課内）
TEL 03-3902-3220　FAX 03-3902-2346
URL http://www.ara.go.jp/arage/shingashi/
E-mail shingashi@ara.go.jp

THE SHINGASHI BASIN NEWS
新河岸川流域しんぶん 里川
SATO GAWA
VOL.46
発　行●新河岸川流域川づくり連絡会（荒川下流河川事務所　調査課内）
住　所●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220　FAX03-3902-2346
発行日●2007年（平成19年）7月19日

切り絵　毛利将範

いよいよ夏まっさかりですね。川あそびには持ってこいの季節となりました。今年も７月から８月にかけて、新河岸川流域内の各地で川まつりが行われます。これらの川まつりの開催とあわせて、リレーフェスティバルスタンプラリーも開催しますので、皆さまお近くの川まつりまでぜひ足を運んでみてください。
新河岸川流域川づくり連絡会では、流域の５つの支川（不老川、砂川堀、柳瀬川、黒目川、白子川）の市民同士の情報交換や市民と行政の情報交換を定期的に行っており、６月には第１回新河岸川流域川づくり連絡会が開催されました。また、今年度は連絡会発足より 10 周年を迎えますので、これまで以上に皆さまが川づくりを身近に感じられるような誌面作りを心がけていきたいと思います。

目次

Ｐ２　新河岸川流域川づくり連絡会
Ｐ３　【レポート】第１３回河川愛護交流会　報告
Ｐ４　流域イベント・インフォメーション
　　事務局便り

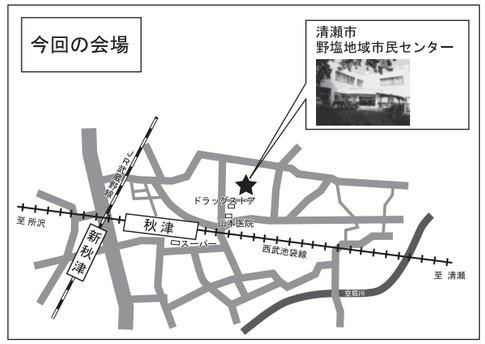
平成19年度 第1回新河岸川流域川づくり連絡会 報告

今年度、第１回目の新河岸川流域川づくり連絡会が、６月26日（火）に清瀬市野塩地域市民センターで開催されました。今回は、今年度の活動方針をはじめとして、平成１９年度フォーラム、第１３回川づくり見学会・交流会などについて、出席された１６名の連絡会メンバーにより意見交換がされました。

今年度は連絡会発足から１０周年の節目の年であることから、これまでの連絡会活動１０年間を振り返り、今後のあり方について考えることをテーマに、各活動を企画する方針が確認されました。

【当日の議事進行】

19：00～19：30	平成18年度　第10回　新河岸川流域川づくり連絡会　議事要旨の確認 平成19年度　新河岸川流域川づくり連絡会活動方針について 平成19年度の各活動について
19：30～20：00	第13回　川づくり見学会・交流会について
20：00～21：00	今年度のフォーラムについて



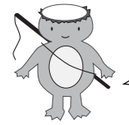
◆次回の連絡会は、７月２４日（火）１９時～２１時に清瀬市野塩地域市民センターで開催します。

●平成１９年度における新河岸川流域川づくり連絡会の年間活動は、以下を予定しています。

日程	新河岸川流域川づくり連絡会	新河岸川流域フォーラム	川づくり見学会	川でつながる発表会	流域通信誌「里川」
6月	第1回（6/26）				
7月	第2回（7/24）				46号（7/19）
8月	第3回（8/21）		第13回（8月～9月予定）		47号（8/31予定）
9月	第4回（9/11）				48号（9/28予定）
10月	第5回（10/9）	平成19年度フォーラム（10/13）			
11月	第6回（11/13）		第14回（11/下旬）		49号（11/16予定）
12月	第7回（12/11）				
1月	第8回（1/22）		第15回（1/中旬）		50号（1/18予定）
2月	第9回（2/12）			第4回（2/11）	
3月	第10回（3/11）				51号（3/21予定）

REPORT

「第１３回河川愛護交流会」報告



本レポートはNPO法人エコシティ志木の毛利さんより寄稿頂きました

去る３月１１日（日）、さいたま市の「ときわ会館」において「第１３回河川愛護交流会」が開催されました。河川愛護交流会は、埼玉県内のそれぞれの地域で展開されている川を愛する多彩な活動が交流し、情報交換や意見交換をする場となり、このような活動がさらに広がり、活発になっていくことを目的に、埼玉県の主催により毎年開催されているものです。今回も２６団体、約１５０名の河川愛護団体、個人、行政関係者が参加し、活発な交流が行われました。新河岸川流域からも多数の団体・市民が参加しましたので、その様子をレポートします。

ポスターセッションの様子

交流会では、午前中、各団体5分間の持ち時間で活動発表を行うポスターセッション、午後は、分科会１（テーマ：河川整備、川づくり）と分科会２（テーマ：①河川美化・利活用、②河川浄化）に分かれての事例発表と意見交換および全体会議が開催されました。

ポスターセッションには、新河岸川流域から「エコシティ志木」、「黒目川に親しむ会」、「新河岸川水系水環境連絡会」、「不老川流域川づくり市民の会」の4団体をはじめ、「荒川クリーンエイド」、「秩父の環境を考える会」など埼玉県内各地から17の市民団体と2つの行政組織が参加し、パネル展示と事例発表、質疑応答が行なわれました。

新河岸川水系水環境連絡会の菅谷さん。新河岸川流域の一斉水質調査・お宝マップの紹介

パネル展示では、日頃の熱心な活動で集めた貴重な自然環境などの流域情報をマップに落とした力作（不老川など）や、アユやウナギ、カワセミ、古代ハスなどの身近な川の豊かな生き物などの写真に加えて、川の生き物調査や川まつり、出前講座などで、川で遊ぶ子どもたちの豊かな表情が多数紹介されていたのが印象に残りました。

午後の分科会１【テーマ：河川整備、川づくり】では、エコシティ志木からは事務局長の伊藤さんから、日頃の自然を守る活動から、地域の文化、特に川環境など水にかかわる自然と文化財をまちづくりに生かす主旨の「志木まるごと博物館・河童のつづら」に展開していった活動報告がありました。比企の川づくり協議会と黒目川に親しむ会からは、それぞれ市野川と黒目川における行政と連携してすすめる河川工事の事例が報告され、活発な意見交換が行われました。

比企の川づくり協議会　市野川の蛇行河川を残す提案を行う

緑川を豊かな環境にする会の発表

比企の千葉さんから「治水と環境が調和する川づくりのあり方」が今後の課題として示されました。また、進行役でもある黒目川に親しむ会の小林さんからは、黒目川での実践をふまえて「これからは、地域をよく知る住民自らが専門家と協力してデータを作成し提案する必要がある。市民と専門家、行政が一緒に考えることで新しい川づくりが見えてくる」という総括がありました。

分科会１「河川整備・川づくり」の様子

全体会では、各分科会からの報告があり、その後主催者である埼玉県河川砂防課から「魅力ある川づくりを目指して、今後も良好な水環境の保全・創造、河川本来のもっている浄化力を高める工法の研究を継続していきたい。また、河川サポーターを増やすためにNPOとの協働事業の募集を計画しているのでふるって応募して欲しい」と、川づくりに取り組む姿勢と今後の予定が発表されました。

かつては自転車やクーラーまでもが投げ捨てられていた川が地道な住民の清掃活動などにより次第に改善され、今では自分たちの街の川がどういう姿であって欲しいのかということについて住民と行政が一緒に考える時代になってきました。行政は、時代の要請により計画を見直すしくみを持つことが必要になり、住民も、住民同士の合意形成、専門家の協力を得ることにより具体的な提案を行う力量が求められています。今回の交流会に参加して、流域住民と行政が一緒になって行う川づくり活動自体が流域の新しい文化（お宝）になりつつあるという印象を持ちました。

（レポート：毛利将範・エコシティ志木）

エコシティ志木の伊藤さん　「水塚や野火止用水跡など志木には水に関わる文化がいっぱい」と、「志木まるごと博物館・河童のつづら」の活動が紹介されました